

## 部門別四賞入賞者（敬称略）

### 日本画の部 出展数13点

- ▷市展賞 高木 美智子（中津川市）
- ▷市長賞 熊崎 莉子（肥田町）
- ▷議長賞 丸山 智代（恵那市）
- ▷教育長賞 小畑 八重子（曾木町）

### 洋画の部 出展数53点

- ▷市展賞 磯部 和久（愛知県豊川市）
- ▷市長賞 長谷川 典子（恵那市）
- ▷議長賞 松本 靖彦（肥田町）
- ▷教育長賞 河村 みどり（多治見市）

### 陶芸の部 出展数35点

- ▷市展賞 江口 孝次（多治見市）
- ▷市長賞 渡辺 耕三（駄知町）
- ▷議長賞 五十嵐 祥子（山下 祥）（泉町）
- ▷教育長賞 水野 東三（瑞浪市）

### 書道の部 出展数36点

- ▷土岐市制70周年記念大賞 岡嶋 八千代（桂川）（多治見市）
- ▷市長賞 小栗 重子（玉泉）（下石町）
- ▷議長賞 佐野 きほ子（麦静）（泉町）
- ▷教育長賞 高倉 裕子（可児市）

### 硬筆書道の部 出展数34点

- ▷市展賞 石河 美奈世（可児市）
- ▷市長賞 亀井 敬恵（敬華）（土岐津町）
- ▷議長賞 土本 峰由紀（泉町）
- ▷教育長賞 山田 文子（文華）（愛知県弥富市）

### 写真の部 出展数60点

- ▷市展賞 岩村 政利（羽島郡笠松町）
- ▷市長賞 五島 高久（可児市）
- ▷議長賞 稲垣 一弘（愛知県春日井市）
- ▷教育長賞 小境 和久（多治見市）

### デザインの部 出展数15点

- ▷市展賞 井上 隆志（多治見市）
- ▷市長賞 柴田 奈優好（精華学園高等学校）
- ▷議長賞 村松 和典（蘭 香津美）（名古屋市天白区）
- ▷教育長賞 山下 隆文（TKディノ）（山県市）

### 手工芸の部 出展数23点

- ▷市展賞 中村 多恵子（泉町）
- ▷市長賞 渡邊 政百（瑞浪市）
- ▷議長賞 田村 光浩（泉町）
- ▷教育長賞 楓 清勝（肥田町）

☎ 文化振興事業団（☎55-5711）

## デザイン

### 「スカーレット」

井上 隆志

#### 講評

アンディ・ウォーホルをほうふつとさせるグラフィック風なイラストで補色を使った大胆なデザインです。視線の先の空間配置も工夫されています。



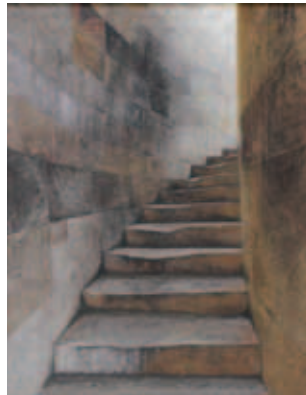
## 日本画

### 「螺旋階段（ピサの斜塔）」

高木 美智子

#### 講評

題材が明確でポイントがはっきりした素晴らしい作品です。光が希望を象徴し、階段の踏みしめた跡に歴史が感じられます。



## 写真

### 「未来へ続く道」

岩村 政利

#### 講評

見る人を引き付ける不思議な力を感じる作品です。作者の意図や見る人を意識した作品作りを期待します。



## 手工芸

### 「黒塗萌葱絨桶側二枚胴具足（立ち葵紋付き）」

中村 多恵子

#### 講評

よろいかぶとを部品ごとに独自の技法を用い、長期の制作期間を経て作られています。手づくり感が伝わり、とともによろいの持つ美しさが表現されています。



詳細は文化振興事業団のホームページをご覧ください。



志水 審査員からは、独自の創意で調和よく昇華され、墨量と余白のバランスが絶妙で精彩に満ちた作品と評価されました。

岡嶋 ありがとうございます。この作品は、力強さを表現するため、書体や文字のバランスなどを意識しながら制作しました。

志水 普段から書に親しんでいらっしゃるのですか。

岡嶋 はい、普段は書道教室で子どもたちに書を教えています。作品作りには、書道仲間と切磋琢磨しながら取り組んでいます。書は、自分を表現することができるものです。

志水 これからも作品作りを通じて、人生に彩りが増していくと良いですね。今後ぜひ、美術展にご参加ください。



岡嶋 八千代さん  
（雅号：桂川）



土岐市美術展  
志水運営委員長



土岐市制70周年記念大賞  
書道「論語」

力強く印象的な作風で、記念大賞に相応しい作品です。

先月、第68回土岐市美術展「土岐市美術展（一般の部）」が開催されました。本年度は、8部門、269点の作品と特別出品47点に加え、市制70周年を記念して「土岐市制70周年記念大賞」が設けられ、鑑賞に訪れた人たちの目を楽しませました。

今回の特集では、記念大賞と各部門の市展賞に輝いた作品を紹介します。（敬称略）

### 陶芸 「焼×広口壺」 江口 孝次

#### 講評

形、大きさ、色合いともにバランスが良い作品です。大変な力作です。



### 洋画 「潜在観念（無相）」 磯部 和久

#### 講評

青を基調とし、ミクロの世界をのぞき込むような形態に美しさを感じます。主題を強く表現する構成力を期待します。



#### 一部抜粋



### 硬筆書道 「琵琶行」 石河 美奈世

講評 白と黒のペン字の世界です。白居易の漢詩を行草の流れでうまく仕上げています。